

## 第5章 豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり

政策の大項目	政策の中項目	政策の小項目(施策)
<p>5</p> <p>豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり</p>	1 望ましい教育の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 教育環境の整備・充実</li> <li>2 心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実</li> <li>3 「生きる力」を育む市民活動の展開</li> </ul>
	2 歴史遺産を活かしたまちづくりの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 国史跡白山平泉寺旧境内を中核にすえたまちづくり</li> <li>2 歴史遺産の保護・活用の推進</li> </ul>
	3 いきいきと学ぶ生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学習機会と施設の充実</li> <li>2 生涯学習の推進に向けた人材の育成</li> <li>3 自然体験学習・ジオパーク学習の推進</li> <li>4 図書館機能の充実</li> </ul>
	4 豊かな心と感性を育む文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 伝統文化の保存・継承</li> <li>2 文化芸術活動の充実</li> </ul>
	5 いきいきと輝くスポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 競技スポーツと生涯スポーツの推進</li> <li>2 体育施設の整備・充実</li> <li>3 平成30年国民体育大会の開催</li> </ul>

## 1 望ましい教育の実現

少子化による児童生徒数の減少に対応し、将来にわたりより良い教育環境の実現に向けた学校再編のあり方を検討し、対応していきます。

また、教育大綱に基づき、新しい時代にたくましく生きる力を育むことを基本に「グローバル社会で活躍するための自立する力、協働する力など多様な力の基礎を培う」「勝山の歴史・文化・産業・自然環境を学ぶ教育を積極的に進めることにより、ふるさとへの誇りと愛着心を醸成し、将来にわたって自分のふるさとを大切に作る心を育てる」等の取組みを進めます。そして、未来を担う子どもたちを家庭・学校・地域が協力して育てていきます。

### (1) 教育環境の整備・充実

#### ■基本的な考え方

小学校の再編については、地域の意思を十分尊重することを基本にするとともに、中学校の再編方針も踏まえ適切な学校規模のあり方を検討し、対応します。

中学校の再編については、これまでの議論と今後の生徒数の見通し等を踏まえ、平成31年度に方針を決定し、対応していきます。

また、楽しくわかりやすい授業を進めるため、その一環として、小中学校におけるICT<sup>86</sup>環境の整備・充実を図ります。

幼稚園については、園児数の減少と保育園の認定こども園化の状況を踏まえ、今後の幼稚園のあり方について検討し、対応していきます。

安心・安全な学校環境を実現するため、学校再編や公共施設等総合管理計画との整合性を保ちながら、大規模改修工事未実施校の工事と非構造部材<sup>87</sup>の耐震化工事を進めます。

#### ■施策指標

##### ・小学校再編について

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
小学校 進展なし	同左	同左	同左	同左	中学校再編 方針を踏ま えて検討

<sup>86</sup> ※ICT

情報・通信に関する技術の総称。従来から使われている「IT (Information Technology)」に代わる言葉として使われている。

<sup>87</sup> ※非構造部材

柱、梁、床等の構造体ではなく、天井材や外壁（外装材）など、構造体と区分された部材のこと。

## 基本計画【第5章】

### ・中学校再編について

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
—	—	—	検討委員会の立ち上げ	方針決定	前年度に決定した方針に基づき対応

### ・各小中学校の授業日数に占めるICT機器を活用した日数の割合

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
—	70%	75%	80%	85%	90%

※平成28年度から調査を開始

### ■重点項目

- ・中学校の再編方針決定と対応
- ・中学校再編方針を踏まえた小学校のあり方検討
- ・幼稚園のあり方の検討と対応
- ・大規模改修工事未実施校の工事と非構造部材の耐震化工事の実施
- ・校務用コンピュータ、教育用コンピュータの計画的更新
- ・電子黒板等の活用
- ・時代に即したICT環境の整備と教育用コンテンツ等の整備
- ・理科等教育設備の整備

## (2) 心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実

### ■基本的な考え方

児童・生徒にとって楽しくわかりやすい授業へ向けた改善に努め、基礎的・基本的な知識と技能の体系的な習得や、課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図ります。

その上で、学びに向かう力の向上や学習習慣の確立に努め、豊かな心や健やかな体が育むことのできる教育を目指すとともに、全小中学校がユネスコスクール<sup>88</sup>として実践するESD<sup>89</sup>やグローバル化に対応した英語教育など、特色ある勝山市の教育を推進します。

<sup>88</sup> ※ユネスコスクール

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校のこと。ESDの推進拠点として位置づけられている。現在、国内で約1000校が加盟しているが、自治体全体の学校が加盟しているのは極めて稀である。

<sup>89</sup> ※ESD

Education for Sustainable Development の略。持続可能な社会づくりの担い手を育むための教育のこと。

■施策指標

- ・授業のわかりやすさ指標<sup>90</sup>

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
小5 1.44	小5 1.45	小5 1.45	小5 1.45	小5 1.46	小5 1.46
中2 0.96	中2 1.00	中2 1.02	中2 1.04	中2 1.07	中2 1.10

■重点項目

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成、一人ひとりに応じた教育の充実につながる授業の改善
- ・環境教育やふるさと教育<sup>91</sup>等を柱としたE S Dの推進
- ・教育活動全体を通じた道徳教育<sup>92</sup>の推進
- ・保育園・幼稚園・小学校・中学校相互の交流・連携・接続の取組みの充実
- ・特色ある学校づくりや自主的・自立的な学校運営実現のための、保護者や地域との連携
- ・教育成果を向上させる学習環境の整備

(3)「生きる力」を育む市民活動の展開

■基本的な考え方

「子どもは地域の宝」であるとの共通認識のもと、家庭・学校・地域が一体となり、市民を挙げてこれからの子どもたちに、生きる力を育む活動を展開します。そのため、かつやまっ子応援ネットワーク<sup>93</sup>を推進母体とした市民活動を展開し、正義感、倫理観、思いやりの心、ふるさとを愛する心やたくましいチャレンジ精神等を養っていきます。

<sup>90</sup> ※授業のわかりやすさ指標

数値の算出方法は「授業がわかりやすいか」との問いに対し、「はい」…+2、「どちらかと言うと、はい」…+1、「どちらかと言うと、いいえ」…-1、「いいえ」…-2 として数値化したもの。

<sup>91</sup> ※ふるさと教育

地域の自然・歴史・文化・伝統行事・産業といった教育資源（「ひと・もの・こと」）を活かし、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさとに誇りを持ち心豊かでたくましい子どもを育むための教育のこと。

<sup>92</sup> ※道徳教育

豊かな心を持ち、人間としての生き方の自覚を促し、道徳性を育成することをねらいとした教育活動。

<sup>93</sup> ※かつやまっ子応援ネットワーク

勝山市の次世代を担う子どもたちを地域全体で育成するため、地域の区長会や子ども会、各種団体、学校等により組織されたネットワークのこと。

■施策指標

- ・児童・生徒の地域行事への参加指標<sup>94</sup>

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
小5 1.57	小5 1.58	小5 1.58	小5 1.59	小5 1.59	小5 1.60
中2 0.64	中2 0.70	中2 0.80	中2 0.90	中2 1.00	中2 1.10

■重点項目

- ・かつやまっ子応援ネットワークを推進母体とする活動の展開
- ・地域行事に子どもが参加できる環境づくり
- ・子どもの安全安心活動の周知と推進

2 歴史遺産を活かしたまちづくりの実現

勝山市内には、豊かな自然環境の中で育まれた歴史と伝統があり、多くのすばらしい歴史遺産や自然遺産、産業遺産が存在します。

これら遺産の中でも特に、国史跡白山平泉寺旧境内や国重要文化財旧木下家住宅<sup>95</sup>、県指定文化財三室遺跡等の歴史遺産を中心として、積極的な保存・整備・活用を図ることで、市民がそれぞれの遺産に理解と認識を深め、地域に誇りを持ち、まちづくりに主体的に関わることができるような環境整備を推進します。

(1) 国史跡白山平泉寺旧境内を中核にすえたまちづくり

■基本的な考え方

日本屈指の中世宗教都市遺跡である国史跡白山平泉寺旧境内を適切に保存するとともに、継続的な発掘調査と史跡整備により、積極的な保存・活用と認知度向上を図ります。さらには霊峰白山への参詣道である越前禅定道等の整備を図る中で、白山とその山麓の歴史遺産の魅力を広く伝えていきます。

あわせて、地域住民の生活環境の改善と石垣・屋敷割り等に中世の平泉寺僧坊跡の面影を残す平泉寺集落の歴史的景観を調和させた整備を行います。

<sup>94</sup> ※児童・生徒の地域行事への参加指標

数値の算出方法は「地域行事に参加しているか」との問いに対し、「はい」…+2、「どちらかと言うと、はい」…+1、「どちらかと言うと、いいえ」…-1、「いいえ」…-2 として数値化したもの。

<sup>95</sup> ※国重要文化財旧木下家住宅

平成22年6月29日付けで国の重要文化財に指定された江戸時代後期の民家で、建築されて約180年が経過した勝山市を代表する歴史的建造物（所在地：北郷町伊知地）。

■施策指標

- ・白山平泉寺歴史探遊館まほろばの年間来館者数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
30,079人	32,000人	34,000人	36,000人	38,000人	40,000人

- ・学術研究書、新聞報道等への国史跡白山平泉寺旧境内関連の登載件数（平成23年度からの累計）

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
137件	160件	190件	220件	250件	280件

■重点項目

- ・国史跡白山平泉寺旧境内の継続的な発掘調査の実施
- ・白山平泉寺大門周辺観光振興拠点を活用した白山平泉寺歴史探遊館まほろばの認知度向上と来館者増加
- ・重要遺構の公有地化推進
- ・世界遺産<sup>96</sup>や日本遺産<sup>97</sup>への登録推進
- ・白山（越前）禅定道の整備・活用

（2）歴史遺産の保護・活用の推進

■基本的な考え方

市内にある多くの歴史遺産の保護・保存と、その活用を推進します。

平成27年度から国重要文化財旧木下家住宅の本格的な修繕を行っており、修繕後は、地区集会場など地元における利活用を図るとともに、昔の生活に触れることのできる貴重な施設として学校教育や生涯学習にも積極的に活用します。

また、勝山市の名の起こりとなった村岡山城跡については、文化財指定を目指し各種調査を行います。

さらに、市の発展に貢献してきた先人の足跡に触れ、郷土の魅力を再発見するため、市内に点在する歴史遺産や石碑等について、調査研究を進めます。また、その成果の展示など、市の貴重な文化財を後世へ継承するため、勝山城博物館との連携を強化します。

<sup>96</sup> ※世界遺産

世界遺産条約に基づき、人類共通の宝物として未来の世代に引き継いでいくべき文化財や遺跡、自然環境として世界遺産委員会に登録された有形の不動産。文化遺産・自然遺産・複合遺産の3種がある。

<sup>97</sup> ※日本遺産

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの。

■施策指標

- ・国重要文化財旧木下家住宅の見学者数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
500人	200人	200人	200人	200人	600人

※平成31年度に完成予定

■重点項目

- ・歴史遺産の保護、保存、活用の推進
- ・国重要文化財旧木下家住宅の保存修理と管理・活用の推進
- ・村岡山城跡の文化財指定および保存と活用の推進
- ・勝山城博物館との連携事業数の拡大
- ・勝山の歴史人物の紹介
- ・県指定文化財三室遺跡の保存と活用の推進
- ・恐竜溪谷100万人（恐竜キッズランド）構想関連事業の推進

### 3 いきいきと学ぶ生涯学習の推進

市民一人ひとりが夢や希望を持ち、個性を発揮しながら、生涯にわたって主体的に学び、行動するために、各種の学習機会を提供します。また、地域・自然との関わりを重視して人づくりを進めます。さらに、図書館機能を充実させ、生涯学習推進の一翼を担わせます。

また、勝山の歴史や地質を学習する機会を充実させることで、郷土愛を育み、勝山市の魅力を次代に伝える環境を整備します。

#### (1) 学習機会と施設の充実

■基本的な考え方

少子高齢化、情報化、国際化等により社会環境が急速に変化する中で、市民一人ひとりが時代にあった生きがいを持ち、生涯にわたって学び、自分を磨くことが大切です。

そのために、誰もがいつでも自主的に自由に学ぶことができる多様な学習機会の提供と充実を図ります。また、生涯学習センター「友楽喜」<sup>98</sup>を拠点とする市民総合大学において、市民に自主的な活動および交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援します。

<sup>98</sup> ※生涯学習センター「友楽喜」

勝山市民の生涯学習の推進に向け、旧勤労婦人センターに設置した市民学習・研修の拠点施設。

■施策指標

- ・市民総合大学の受講者数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
—	5,000人	5,100人	5,200人	5,300人	5,400人

- ・公民館での学級・講座への参加者数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
3,589人	3,700人	3,800人	3,900人	4,000人	4,100人

■重点項目

- ・市民総合大学の充実
- ・さわやか大学の充実
- ・公民館での学級、講座の充実
- ・学習の場、研修の場である市民会館、教育会館、生涯学習センター「友楽喜」、公民館施設の整備と充実

(2) 生涯学習の推進に向けた人材の育成

■基本的な考え方

市民の生涯学習を幅広い分野において進めるため、その指導者やリーダーとなる人材を発掘・育成します。

また、人材育成に向けた講座を市民総合大学の中で開設するなど、生涯学習人材バンク<sup>99</sup>の普及・活用を図ります。さらに、指導者やリーダーとして活躍できる場を提供するため、人材バンクへの登録を奨励していきます。

■施策指標

- ・指導者やリーダーの育成講座参加者数（平成23年度からの累計）

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
60人	140人	220人	300人	380人	460人

- ・生涯学習人材バンク利用件数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
32件	35件	40件	45件	50件	55件

<sup>99</sup> ※生涯学習人材バンク

市内の様々な技術・技能を持つ方々に指導者として登録していただきデータベース化したもの。市民の各種団体が市内の身近な施設で、人材バンクに登録された指導者から講義を受けることができ、謝礼については市が助成する。



■重点項目

- ・地域資源や人材を活かした郷土料理教室開催等の学習活動の支援
- ・勝山市青年団体連絡会や勝山市壮年連絡協議会など、各種団体が行う事業への支援
- ・生涯学習人材バンクの普及・活用
- ・指導者やリーダー育成講座の開催

(3) 自然体験学習・ジオパーク学習の推進

■基本的な考え方

市内の山、川、雪等の自然や恐竜を活用した自然体験学習を推進することにより、市民の環境意識の向上と地域資源への認識を深めます。

さらに、ジオパークセミナー等の開催を通して、市民、特に子どもたちが地球の歴史や身近な地質・地形遺産、自然・歴史・産業遺産等を系統的に学習できる機会を提供します。

ジオパークを学び、楽しむことができる環境づくりを行い、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークのすばらしさを市民が共有することにより、市民の自信と誇りにつなげていきます。

■施策指標

- ・自然体験学習等への参加者数（平成23年度からの累計）

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
7,166人	8,000人	9,500人	11,000人	12,500人	14,000人

- ・ジオパーク学習会への参加者数（平成23年度からの累計）

平成27年度実績	平成28年度見込	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1,800人	2,000人	2,500人	3,000人	3,500人	4,000人

- ・ジオパーク学習会への子どもの参加者比率

平成27年度実績	平成28年度見込	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
33.9%	34%以上	35%以上	40%以上	45%以上	50%以上

■重点項目

- ・自然観察会の充実
- ・水芭蕉探勝登山等の充実
- ・恐竜を活用したコンクール等の充実によるジオパークのPR
- ・カヌー教室開催など、水辺に親しむ事業の充実
- ・太陽光やリサイクル、間伐材を利用した環境の意識向上のための学習事業の推進
- ・ジオパーク市民講演会やジオパークセミナー等による市民への学習機会の提供

- ・学校教育におけるジオパーク学習の実施
- ・ジオパークガイドの養成と活用（再掲）

#### （4）図書館機能の充実

##### ■基本的な考え方

勝山市では、勝山市立図書館を市民の学びの場や情報提供の拠点と位置づけ、市民・学校・他の行政機関に対して図書資料や情報を提供していきます。また、貸出型図書館から情報発信・課題解決型図書館への発展を目指し、機能を強化していきます。

さらに、生活に役立つ話題を取り上げた企画コーナーの設置など、市民が利用しやすい環境づくりを推進するとともに施設・設備を計画的にリニューアルしていきます。

子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもたちの読書環境を整備するため、学校図書室の機能充実に向けた支援を行います。さらに、小さな頃から本に触れ合い親しんでもらうため、生後6ヶ月から1歳6ヶ月の赤ちゃんと保護者を対象としたブックスタート事業<sup>100</sup>を推進していきます。

##### ■施策指標

- ・市立図書館への年間入館者数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
91,012人	92,000人以上を維持	92,000人以上を維持	92,000人以上を維持	92,000人以上を維持	92,000人以上を維持

##### ■重点項目

- ・市民ニーズに対応した図書館資料の充実
- ・利用者に対するレファレンス<sup>101</sup>等の情報サービスの推進
- ・はたや記念館ゆめおれ勝山との連携による利用促進
- ・図書館設備の維持・管理
- ・生活に役立つ話題を取り上げた企画コーナーの設置
- ・子どもの読書活動推進計画の推進
- ・公民館との効果的な連携

<sup>100</sup> ※ブックスタート事業

赤ちゃんの時から本に接してもらい、言葉と心を育てる役に立てようという運動のこと。勝山市では生後6か月から1歳6か月未満の赤ちゃんとその保護者を対象に、絵本の読み聞かせ方やスキップの回り方等を説明した後、絵本をプレゼントしている。

<sup>101</sup> ※レファレンス

図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料等を求めた際に、情報そのものやそのために必要とされる資料を検索・提供・回答等を行うことによって、これを助ける業務のこと。

#### 4 豊かな心と感性を育む文化芸術の振興

福井県指定無形文化財である勝山左義長をはじめ、地域の伝統文化を保存・継承するとともに、市民総合文化祭をはじめとする文化団体の文化芸術活動を支援することにより、市民の豊かな心と感性を育てていきます。

##### (1) 伝統文化の保存・継承

###### ■基本的な考え方

本市の伝統文化を代表する勝山左義長をはじめとした、地域に伝わる伝統文化を次世代へ保存・継承する活動を支援し、市民の地域に対する誇りと愛着を高めることにより、地域の活性化を図ります。

###### ■施策指標

- ・ 伝統文化継承講座への参加者数（平成23年度からの累計）

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
585人	695人	805人	915人	1,025人	1,135人

###### ■重点項目

- ・ 郷土芸能施設の整備・充実
- ・ 地域に残る伝統文化の保存・継承への支援

##### (2) 文化芸術活動の充実

###### ■基本的な考え方

市民に人間的な豊かさと元気をもたらし、活力ある地域社会を目指すため、市民の文化芸術活動の活性化に向けた支援を行うとともに、文化団体の育成を図ります。

###### ■施策指標

- ・ 市民総合文化祭の参加団体数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
77団体	85団体を維持	85団体を維持	85団体を維持	85団体を維持	85団体を維持

###### ■重点項目

- ・ 市民総合文化祭の充実および参加団体拡充の検討
- ・ 芸術劇場や文化講演会の充実
- ・ 文化団体の育成・支援
- ・ 国・県文化芸術事業の活用
- ・ 市民の自主的な文化芸術活動への支援

## 5 いきいきと輝くスポーツの振興

多様化する市民のニーズに対応し、誰もが気軽にいきいきとスポーツに親しむことができる機会を提供します。1市民1スポーツを目標に「するスポーツ」、「観るスポーツ」、「支えるスポーツ」を推進するとともに、スポーツを通して市民の健康づくりを進めます。

### (1) 競技スポーツと生涯スポーツの推進

#### ■基本的な考え方

市民の夢と自信、ふるさとへの誇りにつながる競技スポーツの競技力向上を推進します。さらに、平成30年開催の第73回国民体育大会<sup>102</sup>と第18回全国障害者スポーツ大会<sup>103</sup>の成功に向け、市民の機運を高めます。

また、市民のスポーツ活動への関心と、気軽にスポーツに参加する意識を高めるため、子どもから高齢者まで誰でも気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツの機会を増やします。また、市民の自主的なスポーツ活動を支援していきます。

#### ■施策指標

- ・勝山恐竜クロカンマラソンへの参加者数（1開催あたり）

平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
2,095人	1,894人	2,400人	2,600人	2,800人	3,000人

#### ■重点項目

- ・競技力向上に向けたトップアスリートによる指導
- ・ジュニアから一般までの一貫指導体制の強化
- ・スポーツ推進委員<sup>104</sup>の育成
- ・スポーツイベント等の充実による市民のスポーツ意識の高揚
- ・勝山恐竜クロカンマラソン大会充実による対外的な勝山市のPR
- ・白山禅定道トレイルマラソン等への支援
- ・ニュースポーツ<sup>105</sup>の講習会や大会の実施による理解促進

#### 102 ※国民体育大会

国民の間にスポーツを普及させ、また、国民の体力の向上や体育の振興等を目的として、毎年各都道府県から選出された選手によって行われる総合競技大会。福井県を会場とした前回大会は昭和43年に開催されている。

#### 103 ※全国障害者スポーツ大会

障がい者に対するスポーツの普及また障がい者の社会参加推進、さらにスポーツを通しての友情と国民のバリアフリーの意識を高めてもらうため、第56回（2001年）の国民体育大会から設立された障がい者のスポーツ大会である。

#### 104 ※スポーツ推進委員

スポーツ基本法に基づき教育委員会から委嘱され、市民のスポーツ推進のため、連絡調整や実技の指導および助言を行う。

#### 105 ※ニュースポーツ

競技性を重視せず、老若男女を問わず誰でも参加できることを目的としたスポーツの総称。

## 基本計画【第5章】

- ・スポーツ少年団の育成・支援
- ・市民体育大会の充実
- ・市民の自主的なスポーツ活動への支援

### (2) 体育施設の整備・充実

#### ■基本的な考え方

市民の自主的なスポーツ活動や市外・県外からの合宿、国民体育大会の実施等の利用に十分対応できるような体育施設の整備・充実を図るとともに、体育施設のさらなる利用率のアップを目指します。

また、勝山市体育館「ジオアリーナ」の完成に伴い、既存の体育施設の再配置、再整備の取組みを進めます。

#### ■施策指標

- ・勝山市体育館「ジオアリーナ」の一般利用人数

平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
ランニングコース					
—	8,000人	12,000人	13,000人	14,000人	15,000人
トレーニングルーム					
—	9,700人	14,000人	15,000人	16,000人	17,000人

#### ■重点項目

- ・勝山市体育館「ジオアリーナ」施設の充実
- ・既存体育施設の再配置、再整備と利用促進

### (3) 平成30年国民体育大会の開催

#### ■基本的な考え方

平成30年の第73回国民体育大会と第18回全国障害者スポーツ大会の開催に向け、勝山市民の機運を高め、一人ひとりが花づくりや道路美化活動等の大会運営に関わることにより、いつまでも市民の記憶に残るような大会を目指します。また、両大会の開催を契機に競技力向上を図ります。

#### ■重点項目

- ・平成29年度のバドミントン競技とクレール射撃競技のプレ大会の開催
- ・第73回国民体育大会および第18回全国障害者スポーツ大会の開催
- ・国民体育大会開催に向けた選手の強化と指導者の育成、ボランティアの要請